



トガリネズミラヴァー 六田晴洋の 私たちの ご近所さん



VOL. 27 「白糖の夏の虫」

突然ですが、虫は好きですか？私は子どもの頃から好きです。小学校低学年くらいまでは、まわりの友だちも虫が好きでしたが、大人になるにつれて触れないほど嫌いになる人が増えていきまして。なぜ多くの人は虫を嫌いになるのでしょうか。関心が薄れるだけならまだわかります。ウルトラマンなどと同じようなものかなと思えるので。でもウルトラマンに興味がなくなっても嫌いにはな

らないですよ。そしてなぜずつと虫が好きな人もいるのか。大きな謎です。

ついに見つけた！
クワガタの集まる木

虫の中でもミヤマクワガタが特に好きです。この独特な造形がたまりません。2年前はドイツへミヤマクワガタの仲間を探



ミヤマクワガタのオスとメス

しに行きました。本州では標高の少し高い所へ行かないと出会えず、遠い存在だったのですが、北海道ではコンビニの明かりにもやってくる身近なクワガタです。最初は明かりに來たミヤマクワガタを見て喜んでいたのですが、やっぱり自然の中にいる姿を見たくまりました。白糖町内で本格的に探し始めたのが去年の夏。それから一年後、先日

ようやく見つけました。ミズナラの幹から染み出る樹液をなめるミヤマクワガタ。自宅のすぐ近くでこんな光景が見られるなんて！感激です。

ヒオウギアヤメとアリの関係

今、恋間海岸も短い夏を迎えています。海岸を彩る花はハマナスやエゾスカシユリなどさま



ヒオウギアヤメに集まるアリ

ざまありますが、紫色が美しいヒオウギアヤメもその一つ。よく見ると、花の奥にアリがいます。ヒオウギアヤメの花の奥には甘い蜜があり、虫を呼び寄せます。蜜を求める虫たちの体には花粉がつくので、動き回っているうちに、その花粉がめしべに付いて受粉するという、ヒオウギアヤメの戦略です。植物と虫の関係はとても深く、知れば知るほど面白いものです。

PROFILE

六田晴洋 ろくた はるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糖町へ移住。

大学卒業後、フリーランスの

カメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。<https://rokutaharuhiro.com>

